

環境を守りはぐくむ人を育てる

〔将来像〕

子どもから大人までが「めぐろの環境」について学び、自発的に環境にやさしい暮らし方を賢く選択しています。一方、事業者においても環境に配慮した事業活動が浸透しています。

目黒区エコプラザが地域の環境保全活動の拠点としての役割を果たし、多くの区民や団体で連携した活動やネットワークの形成が見られ、活動の輪が広がります。

〔取組方針〕

こうした将来像を目標に、環境への気づき、環境にやさしい暮らし方の実践につながる学習や体験の機会を増やすとともに、気づきから行動へ促すことができるよう、日常生活や事業活動の中で実践できる仕組みづくりを行います。

また、環境学習等に参加した人々が、地域の環境保全活動や人材育成に携わり、環境を守りはぐくむことを地域に広げ、次の世代に伝えていく活動を支援していきます。



(イラストはイメージです)

指標の評価

😊：目標値を達成 😐：目標値に近づいている ☹️：目標値に近づいていない -：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末時点実績値	2018 (平成30) 年度末実績値	目標	評価
成果指標					
環境保全に関する取組に参加してみたい又は参加したことがある人の割合※1	2016	14.4%	13.2%	増加	😊※2
取組点検項目					
出前講座実施回数(☆)	2010	小学校出前講座 15校794人	小学校出前講座 6校288人 老人いこいの家 出前講座※3 2回13人	増加	☹️
		子育てママの エコ入門 10組20人	子育てママの エコ入門 96組391人		😊
環境配慮活動団体数 (目黒区エコプラザ支援団体)(☆)	2010	8団体	9団体	増加	😊
環境配慮活動団体数 (スーパース活動団体)(☆)	2010	32団体	34団体	増加	😊
環境配慮活動団体数 (グリーンクラブ、公園活動登録団体の合計数)(☆)	2014	107団体	112団体	増加	😊
環境推進員ステップアップ講座・交流会参加者数(☆)	2010	20人	9人	増加	☹️

※1 P81の区民に対する『環境に関するアンケート』の「2. 環境にやさしい行動の取組状況について」の問7の★5マークの項目の集計結果の平均値から算出。

※2 P71「標本誤差について」により、数値の増減は誤差の範囲内のため、評価は「目標に近づいている」とした。

※3 老人いこいの家出前講座は、2014(平成26)年度から実施。

2018(平成30)年度の成果

- 「環境保全に関する取組に参加してみたい又は参加したことがある人の割合」は、基準年度末実績値とほぼ同水準で推移しており、区民の更なる行動促進に努めていきます。
- 出前講座実施回数については、子育てママのエコ入門の参加人数が増加したものの、小学校・老人いこいの家における出前講座は基準年度を下回っており、講座を活用いただけるよう周知に努めていくことが必要です。
- 環境配慮活動団体数について、環境に取り組む団体が着実に増加しています。
- 環境推進員ステップアップ講座・交流会参加者数については、基準年度末実績値を下回る9人にとどまっており、人材育成の取組への参加者を増やしていくことが課題です。

施策の進め方

地域の環境をよくしていくためには、環境保全の大切さや環境問題の現状を知り、家庭や地域の中で環境に配慮した行動を積極的に進めていくことのできるひとづくりが何より重要です。

区では、これまでも学校版めぐろグリーンアクションプログラムの推進等、学校における環境教育や、エコプラザを拠点とした講演会や講座の開催等に取り組んできました。

今後も、学校やエコプラザを中心に、環境教育・学習の機会を幅広く提供していきます。また、地域の主体的な環境学習への支援、自主的に活動できる人材の育成を進めていきます。

● 環境推進員の育成

地域において積極的に環境保全活動を行うことのできる人材（環境推進員）を育成することを目的として、フィールドワークやグループ討議・発表を含めた、全6回の連続講座を実施しています。

2018（平成30）年度は、「わたしも始める環境保全活動」をテーマに、第11期環境推進員養成講座を開催しました。応募者10人のうち、9人が受講し、講座修了者は5人でした。



<環境推進員養成講座グループ発表の様子>

● エコプラザを活用した環境学習

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザで開催し、参加人数は合計で2,453人でした。

なお、2018（平成30）年度は、小学生を対象とした「DIY子ども工作教室」を新たに実施しました。

<環境学習の内容と参加人数> (単位：人)

講座・講習会名	参加人数
出前講座（小学校・老人いこいの家）	301
子育てママのエコ入門	391
修理コツコツ講座	158
何でもづくり隊	1,248
打ち水講座	111
ふれあい館まつり	200
親子ふれあい自然体験	27
DIY子ども工作教室	17
(合計)	2,453



<修理コツコツ講座（網戸の張替え）>



<DIY子ども工作教室>

●環境学習機会の提供

自発的な環境活動へのきっかけとして、身近なテーマで大人から子どもまでを対象とした講演会などを開催しました。

<環境学習の内容と参加人数>

(単位：人)

講演会名など	内容	延参加人数
環境講演会	「海・山・森からのSOS ～気候変動がわれわれ生き物に与える影響～」	37
消費生活展	「みんなで考えよう！人と地球にやさしい暮らし」	約1,800

●学校等における環境学習の推進

学校における環境学習活動の充実を図るため、学校全体で環境活動に取り組むための仕組みである「学校版めぐろグリーンアクションプログラム」を区立小中学校全31校で継続して行っています。また、各校の取組に対する支援としてアドバイザーを10校に派遣しました。

●多様な媒体を活用した環境情報の発信力の強化

6月の環境月間に、総合庁舎本館西口ロビーで環境パネル展を開催し、省エネ活動・ポイ捨て防止の啓発をするとともに、環境推進員などを紹介しました。

また、エコプラザニュースの発行（計12回）など、広報の充実に努め、目黒区エコプラザの利用促進を図りました。なお、さまざまな機会、媒体を活用することで、環境情報の発信力を高めました。

<目黒区エコプラザの利用状況>

利用項目	登録人数 /利用件数
新規利用登録人数	148人
活動室利用件数	379件
図書貸出し件数	141件

◇2019（令和元）年度に実施する主な施策の内容

- ・目黒区エコプラザ事業として、環境推進員養成講座を実施し、地域において積極的に環境保全活動を行うことのできる人材（環境推進員）を育成します。また、講座・講習会の開催に当たっては、特に若年層が参加できる講座を充実し、参加者層の拡大を図っていきます。
- ・「学校版めぐろグリーンアクションプログラム」をアドバイザーなどの指導のもと、より実践的な取組にしていきます。

施策の進め方

区民が環境教育・学習を通じて学んだことを活かし、地域の中で環境保全行動を実践していくことができるよう、自主的に活動する人材がリーダーとなって、地域で活躍する仕組みを整えていきます。

また、事業者も地域の一員として、事業活動における環境負荷の低減、環境への配慮に取り組んでいくことも重要です。

このため、区は、事業者への普及啓発、自主的な環境配慮行動への支援に努めていきます。

● **めぐろエコサポーター制度登録者への活動支援**

環境推進員養成講座第11期修了生にエコサポーター制度を案内し、5人全員が登録しました。

登録者は、昨年度末で100人となっています。毎月エコサポーターに情報提供を行い、登録者が自主活動を行えるよう支援しています。

● **環境に配慮した事業活動の促進**

製造業、建設業、情報通信業及びものづくりにかかわる、ソフト産業を主たる事業として営む区内中小企業の国際標準規格であるISO9000並びに14000シリーズの取得に対して、費用の一部を助成していますが、申請はありませんでした。

また、環境問題について考え、省エネルギーや緑化のために具体的に行動する仕組みである、めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進しました。認定会を2回開催し、新規認定が1件、更新認定が3件、中間報告が5件ありました。



＜めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）
（認定事業所ステッカー）＞

● **自主的な環境学習の支援**

環境学習施設として、駒場野公園内に生ごみ堆肥化機械を設置し、家庭から出る生ごみの堆肥化活動の支援を行っています。利用回数は43回と、前年度の44回とほぼ同じ利用回数であり、区民の活動が定着してきています。



＜生ごみ堆肥化機械＞

◇ **2019（令和元）年度に実施する主な施策の内容**

- ・エコサポーター制度登録者が自主的な活動に取り組めるよう支援していきます。
- ・区内中小企業でものづくり事業を営む事業者に対し、国際標準規格の取得支援事業を行います。
- ・生ごみの堆肥化事業を引き続き実施し、自主的な環境学習を促します。

施策の目標 5-3 ネットワークの形成

施策の進め方

地域と地球の環境を守りはぐくむまちを実現していくためには、環境保全活動の輪を広げ、さまざまな主体が連携して取組を進めていくことが重要です。

このため、環境推進員や環境配慮活動団体のネットワーク化を図り、環境活動に取り組む区民や団体どうしの交流、連携を促進していきます。また、区民、団体、事業者、区等が参加、話し合う場の提供等を通じてパートナーシップを構築していくことも大切です。さらに、他地域との連携により、行政の垣根を越えてあらゆる主体が連携し、広域的に環境問題への対応を進めていくよう努めます。

●環境推進員のネットワーク化

環境推進員が、区や団体などと協力して地域で活動していくためのステップアップ講座や、交流会などを開催して、環境推進員が協力し合って地域で活動できるように、連携を図っています。2018（平成30）年度は、「食品ロスの現状を知り、私たちの暮らしと環境活動を考える」をテーマにステップアップ講座を開催しました。

●めぐろエコサポーター制度登録者への活動支援【再掲】 p.56参照

●地域の環境保全活動の普及および参加促進

2018（平成30）年6月10日（日）に、エコライフめぐろ推進協会と共催で、「エコまつりめぐろ2018」を開催しました。41団体が参加し、来場者は約1,430人でした。7回目となる今回は、「もったいないは愛言葉～みんなで作る地球の未来～」をテーマに、昨年も好評だった食品ロスを減らす取組である「フードドライブ」など、エコをキーワードにした様々なブースを設けました。なお、新たな催しとして、目黒の星空を観察し、光害や大気汚染について考えてもらうことを目的とした、屋内プラネタリウムを実施しました。

また、地域の環境保全活動の活性化につなげるため、幅広い環境活動に継続して取り組んでいる区民・団体・事業者を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」を、2001（平成13）年度から開始し、今までに57人の区民・51団体・14事業者の方を顕彰しています。2018（平成30）年度は、以下の2団体を顕彰しました。



<エコまつりめぐろ2018>



<エコ・チャレンジ顕彰>

<被顕彰者及び顕彰理由>

被顕彰者（敬称略）	顕彰理由
東山住区住民会議	長年にわたり、エコ商品の販売や牛乳パックの回収活動を行い、地域における環境負荷の低減に大きく貢献した。
公益社団法人 目黒区シルバー人材センター	長年にわたり、定期的に区内全域の幹線道路や主要公園での清掃活動を行い、区内の環境美化に大きく貢献した。

●区民・団体・事業者のパートナーシップによる環境施策の推進

協働による環境保全活動の推進に向けて、目黒区環境審議会を2回開催し、環境保全施策についての情報提供や報告を行いました。また、区民や事業者などが参加し、地球温暖化対策について話し合う場となる地球温暖化対策地域協議会を2回開催しました。協議会では、「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の進捗状況を確認し、目標に向けた効果的な取組について検討しました。

<目黒区環境審議会の開催内容>

回・開催日	内容
第1回 2018(平成30)年 10月3日(水)	<p>報告事項 (1)「平成30年度版めぐろの環境(環境報告書)」の発行について (2)ハクピシン等相談・捕獲処分事業の実績報告について (3)平成30年度住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成事業の実施について (4)気仙沼産バイオマス発電由来FIT(フィット)電気の購入について</p> <p>情報提供 ・ 指定喫煙所の休止の試行について ・ 羽田空港見学会の開催について</p>
第2回 2019(平成31)年 1月10日(木)	<p>報告事項 (1)目黒区エコプラザの指定管理者の指定について (2)平成30年度エコ・チャレンジ顕彰の被顕彰者について (3)平成30年度住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成の受付期間の延長等について</p> <p>情報提供 ・ 羽田空港機能強化に関する住民説明会開催についてのお知らせ</p>

●他地域との連携による取組の推進

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策に係るカーボン・オフセット²⁴を展望した事業の一つとして、2010(平成22)年度に友好都市である宮城県角田市の四方山の一角に創設しました。

2018(平成30)年度は、2014(平成26)年5月に実施した生育状況等調査から4年が経過したことから、現地視察を行いました。

また、植樹した樹木を生育させるため、生育の支障となる下草などの刈り払いを2回実施するとともに、獣類による被害を防止するための忌避剤散布を行いました。これらの「めぐろエコの森」整備事業は、みどり東京・温暖化防止プロジェクトの助成を受けて実施しています。



<めぐろエコの森>

²⁴ カーボン・オフセット：温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)すること。

◇ 2019（令和元）年度に実施する主な施策の内容

- ・ 田道ふれあい館などで開催する「エコまつりめぐろ2019」について支援を行います。
- ・ 環境負荷の低減や環境保全活動のための顕著な取組を行っている区民、団体、事業者などを顕彰し、地域における環境保全の取組意欲を高め環境と共存するまちづくりの推進を図ります。
- ・ 地域団体と連携し、支援事業を行うことで地域活動協力者の養成を図ります。

トピックス

SDGs（持続可能な開発目標）

SDGs（持続可能な開発目標 エスディーゼーズ）は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

気候変動や廃棄物などの環境問題だけではなく、貧困や飢餓、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、環境・経済・社会の課題を同時に解決することを目指しています。



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

WEB

JAPAN SDGs Action Platform（外務省）

〔URL〕 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

トピックス

エコライフめぐろ推進協会とは

1995（平成7）年、区民・事業者・行政が連携してリサイクルを推進する組織として「リサイクルめぐろ推進協会」が設立されました。その後、2005（平成17）年に環境全般にわたる事業を行う「エコライフめぐろ推進協会」へと改称し、環境問題に関する情報の普及・啓発や環境保全活動をする区民や活動団体などへ支援を行っています。2006（平成18）年には、区の指定管理者となり、目黒区エコプラザの管理運営も行っていきます。

協会では、エコまつり、環境問題に関する講座、ホームページ「めぐろスマートライフ」によるエコライフの提案などを行っています。また、目黒区エコプラザでは廃食油やインクカートリッジなど、資源回収事業も行っていきます。

一人でも多くの区民が環境にやさしいライフスタイルに関心を持ち、さまざまな立場の人たちがつながっていけるネットワーク作りの拠点となる役割が期待されています。

WEB

エコライフめぐろ推進協会ホームページ

〔URL〕 <https://www.ecolife-meguro.com/>